



天を造り出し、
これを引き延べ、
地とその産物を押し広め、
その上の民に息を与え、
この上を歩む者に
霊を授けた創造主は
こう仰せられる。

わたし、主は、
義をもってあなたを召し、
あなたの手を握り、
あなたを見守り、
あなたを民の契約とし、
国々の光とする。
イザヤ四十二章5、6節

A happy new Year!

写真/茨城空港



ニュースレター巻頭言

2011年、新たなる展開。

ジェネシスジャパン会長 **宇佐神 実**

天地を造り、私たち人を創造主ご自身のかたちに造られた主の御名を讃美します。

昨年11月に、私、宇佐神実がジェネシスジャパン（創造論研究会）会長に就任しました。日本における創造論のパイオニアとして1978年より、科学的視点から創造の事実を検証し伝える働きを、名誉会長であり私の父でもある宇佐神正海が始めてから、30年あまりの月日が経ちました。その間、多くの方々が関心を持ってくださり、また応援していただき、今日まで、日本における創造論の働きを進めて来る事ができました。心より感謝申し上げます。

ジェネシスジャパンは、クリスチャン科学者や科学に関心のある方たち、創造論に関心のある方たちが教え合い学び合う会として創造論研究会の重荷を担い続けながら、より多くの人々に、創造主の偉大さ、創造のみ業の素晴らしさをお伝えしたいと、新たなビジョンを掲げて進み始めました。

それは「ワールドヒストリーミュージアム（世界史博物館）」構想です。

天地創造からの聖書の歴史と自然史

を同時に学べる博物館を、この茨城の地に建設したいと考えています。ジェネシスジャパン事務局から30分程のところに、主が茨城国際空港を造って下さいました。国際線はソウル便、上海便等格安便が主流で、国内線は神戸便の他札幌便、名古屋便が就航しようとしています。また、東京からは車で1時間半ほどの距離です。

このロケーションを活かして、日本のみならず、アジアの人々に創造の御業の素晴らしさを伝える、聖書に堅く立った歴史博物館の建設を目指しています。具体的なプランは現在、構築中

です。順次、ニュースレター、HPでお知らせ致します。これは決して平坦な道のりではないと覚悟していますが、この思いを与えてくださった全能の主の導きに従いつつ進めていく決意です。

また皆様からの要望の多い「創世記の記録」ヘンリー・モリス著の再版に向けて準備が急ピッチで進んでいます。聖書と創造論の最高の入門書としてお役に立つことを確信しています。

2011年は、4月に軽井沢で青少年向け創造論セミナー、8月に富山で子供から大人まで参加できる第2回聖書&科学カンファレンスを開催します。

さらに日本の国土が「ノアの洪水」後、どのように形成されてきたかを調査研究するプロジェクトにも着手いたしました。

これらのことを覚え、是非お祈りください。また、会員の方は、プレゼントのロゴ入りポロシャツを着て、ジェネシスジャパンの働きとホームページ(<http://genesisjapan.com/>)をアピールしていただければ幸いです。

皆様のうえに主の豊かな祝福がありますように。



写真/2010年7月 第一回聖書&科学カンファレンス

あなたの若い日に、あなたの創造主を覚えよ。

伝道者の書

(創造論セミナー参加者の声)
☆恐竜は、ノアの洪水を示す証人であることなど、恐竜についての理解が変わりました。

☆植物のように、良いものをたくわえられますように。

☆ダーウィンのような知的信仰になってはならないと思いました。

なぜ青少年向けの創造論セミナーか。 宇佐神 実

日本のマスメディアは、進化論とヒューマニズムの世界観を背景とした報道が流され、公教育の中でも、進化論が事実であるかのように教えられています。ですから、日本の社会で育つ人々は、当然そのような世界観をもちます。これは、聖書と正反対の世界観ですが、多くの人はそのことを学ぶ機会がありませんでした。

子供たちが中学・高校・大学へと進学するにつれ教会に来なくなると多くの方が訴える現象は、単に部活動や勉

強に忙しくなるためだけではなく、その心が二つの世界観の間で板挟みとなり、やがて進化論とヒューマニズムの世界観が大きな影響を与えるようになるためではないかと考えています。特に親よりも教師や友人たちの影響を受けやすい環境にあると、その傾向が強いでしょう。

私はクリスチャンホームで育ち、創造論のパイオニアとしての父をもち、日本の社会で育ちました。しかし、中学の頃から進化論を学ぶようになり、

進化論と聖書の違いはわかって、創造を確信して生きる重要性がわからなくなりました。後にこれが深刻な問題であることを理解したときから、若者が創造を正しく認識する事の重要性を感じるようになったのです。

中学、高校、大学で学んでいる方、成人の方でこの問題を考えている方に是非ご参加いただき、創造主がおられることの祝福、世界が創造された事を確信して生きる事のすばらしさを共有できればと思います。

青少年向け創造論セミナー

2011年4月4～6日
対象：中高生以上 40名限定！
お早めにお申し込み下さい

■詳細はホームページ参照 <http://genesisjapan.com/>
■登録料一名 3000円
■費用 2泊6食 中高生9000円 大人12000円

お問合せ&お申込み ジェネシスジャパン 電話 029-292-9621 Fax 03-6862-8340

被造物は創造主を証しする：加藤義人
天地創造（創世記1章）：宇佐神実
教科書の進化の証拠の問題点：宇佐神実
創造に関する考え方を確立する：宇佐神実
聖書の原則と世の原則：宇佐神実
ノアの洪水と化石1：山本哲也
聖書を5分で説明する：加藤義人
創造と聖書の疑問に答える時間
進化論を信じている人たちにどう接するか





写真 / 2010年7月 第一回聖書&科学カンファレンス

ジェネシスジャパン副会長
山本哲也

以下、その記事からの引用です。『これらの写真は、デジタル写真家たちが行った「人をだます考古学的な捏造写真コンテスト」の作品であって、これらの無邪気な悪戯がインターネットに載って全世界をだます元になった。サウジ・アラビアで発見されたと言う巨人の写真は、全く別のマストドン（古代の象の一種）の発掘現場写真をオリジナルにして人間の骸骨の写真と合成したものである。また別の巨人化石の発掘写真は、シカゴ大学のアフリカにおける考古学発掘現場の写真の中央に、別の人間の頭蓋骨を持ってきて合成したものである。』

とんでもない悪戯^{いたずら}写真が、^{まこと}実にやかに「巨人化石の発見」を、半分舌を出しながら全世界に叫んでいたのです。確かに、そのような化石が発見されれば、聖書に対する大きな確証となることは明らかですが、それらはあくまでも嘘偽りのない真実の証拠でなければなりません。この終わりの時代、私たちはいろいろな誤った情報に惑わされず、ただ聖書の真実のみを求めなければなりません。

「巨人がその頃地上に存在していたことは、聖書がはっきりと我々に告げている。しかし、我々は、この事についての我々の立場を固めるために、作り話やでっち上げに頼る必要はない。これは明らかに、クリスチャンがしてはいけない論証である。」*2

*1 民数記 13章、サムエル記上 17章、サムエル記下 21章、民数記 13章など

*2 「Arguments Christians Shouldn't Use」 by Dr. Tommy Mitchell, AiG_U.S. August 3, 2010 AiG News Letter

カナンの巨人ついに出現か？

南米のクリスチャンの友人から興味深い数枚の映像写真がインターネットを経由して届きました。「カナンの巨人の化石が発見された。」との報道があったが、考古学的な地質学的なコメントが欲しい。」と言うことでした。送られてきた画像は、発掘された場所とされている地図、掘り出された巨人の化石や発掘現場の写真数葉で、今までに見たことの無いはっきりとしたもので、ほうー、ついに出了かと思入ったのでした。

聖書のなかには、昔地上にネピリムと呼ばれる大きな巨人がいて、イスラエル民族の歴史にいろいろと関わりを持ったことが記されています。ダビデが倒したゴリアテは、その大きさは背丈が3mにもおよび、着用しているよろいの重さが50kgもあり、7kg以上もある穂先をつけた槍を武器にしていた恐ろしい巨人であったし、手足の指がそれぞれ6本ずつの巨人もいたと書いてあるのです。*1

こんな怪物巨人が人間と一緒に住んでいたなど考えられない、童話やお伽話のようなことが書かれている聖書な

ど信じられないと言う人々は多くいます。しかし、聖書を創造主からの正しいメッセージであると受け入れ信じているクリスチャンは、聖書に書かれているような巨人は地上に存在した、したがって巨人の化石も当然古代の人間の化石と同じように発掘されるであろうと考えます。今までも巨人の化石であるとか、巨人のミイラであるとかの写真が発表されたこともありましたが、どれもはっきりと確証させるものではありませんでした。

しかし、今回の写真は違っていました。写っている化石と発掘している人々や周りの状況は全く、それらが巨人の、とてつもなく大きな人間の化石であるように見えました。はっきりとした巨人の化石でした。クリスチャンが待っていた、聖書の記述にある巨人の化石がついに発見されたのだらうかと、胸が躍りました。どんなコメントを書こうかと思ひながら、ふと思いついてAiG(Answers in Genesis) ニュースの最近の記事*2を繰ってみたところ、驚くことが分かりました。これらは捏造写真だと言うことです。

※ 写真は下記のホームページにて、ご覧いただくことが出来ます。

<http://www.answersingenesis.org/articles/2010/08/03/were-giant-skeletons-found-in-the-desert>



ジェネシスジャパン名誉会長 医学博士
宇佐神クリニック院長

宇佐神 正海

この素晴らしい世界。

昔は、多くの人が、人間を超える存在があると信じていました。私の祖父は、福島にある神社の神主をしており、代々神主の家系でした。私も日本にはすばらしい八百万の神々がいると信じていました。昭和一六年、私の父が樺太に赴任したため、太平洋戦争中は樺太にいましたが、昭和二年八月に日本に戻り、伯父が神主を務める福島の神社の一角に住むようになりました。

ある時、私の双子の弟が、分厚い本を持って帰って来て、こんなに厚い本が安く手に入ったと喜んでいました。それは、聖書でした。最初のページを開くと、「元始に、神、天地を造つくりたまえり」とありました。私は、「何と馬鹿げた本だろう。天地を造れる神なんかいるわけがない。」と思いました。そして、弟に対して不満を覚えました。「うちには、立派な神道という宗教があるのに、何で他の国の宗教の

本なんか喜んで読むのだろう」と。

私は、弟が間違っていると信じ、聖書の誤りをはっきり示そうと思いました。そして、進化論で創造主がいなかったことを証明できると考え、進化論を調べ始めました。私は、教科書で教えられている進化論は科学的で証明されたものだと思っていたのです。

しかし、調べれば調べるほど困惑してきました。なぜなら、よく調べてみると、進化論が憶測で語られていることがわかり、明確な科学的証拠はどこにも見いだせなかったのです。生物学の教科書を見ると、「化石の年代は、その化石が発見された地層の年代で決定される」とありました。では、地層の年代はどうやって定められるのでしょうか。私は地質学の教科書を調べました。すると、「地層の年代は、その地層から発見される化石によって決定される」とあったのです。

これでは、堂々巡りであまりにもお粗末でした。調べに調べた結果、結局進化の証拠は見つかりませんでした。そして、動物や植物を見る時、それらがとても機能的に、美しくできているのです。進化論で予想されるような中途半端な生き物はいませんでした。「偶然にこんなすばらしいものができるはずがないではないか」という思いが強くなりました。ですから、「創造主が存在する」という事実を受け入れざるを得なくなったのです。それ以来、造られたこの世界のすばらしさを研究するのが、私の楽しみとなりました。

野菜や草花を育てる時、一生懸命雑草を抜いたり水をやったりします。しかし、太陽の光も、空気も、水も造られたのは創造主です。そう思うと自分の努力ではなく、創造主が育ててくださっているのだとひしひしと感じさせられます。

人間は、さまざまな宗教を造りましたが、どんな宗教を信じている人にも、私のように神道を信じていた人にも、その人を造った創造主がおられ、見守ってくださるのです。

私の愛読書は聖書となりました。聖書は私の人生が順調な時も困難な時にも、私を教え導く、私の人生の手引き書となったのです。

創造論セミナー希望者募集

全国どこでも、何人からでも創造論のセミナーをいたします。
下記の内容についてご記入の上、ファックスまたはメールにて、お問合せ、お申込みください。

fax : 03-6862-8340 e-mail : info@genesisjapan.com

お名前 (フリガナ) -----

電話番号 -----

ご住所 -----
〒 -----

- 創造論セミナーを希望します。
月 頃 (教会/学校/家庭集会/その他)
- 創造論セミナーを検討したいので資料をください。
- 創造論について質問があります。



写真/2010年7月 第一回聖書&科学キッズカンファレンス